

コース名	トップセミナー2 他者視点で学ぶ！職場のコミュニケーション【港区虎ノ門開催】 ～会社への従業員エンゲージメント向上に繋げる演劇アプローチ～				
研修のねらい	社内において経営層と従業員のコミュニケーションが円滑に図れることで、社内の問題、課題への早期対応が可能となるとともに、その質も高まれば従業員の会社への共感、帰属意識も生まれエンゲージメントの向上に繋がります。中小企業の課題である生産性向上や人材確保等に対応し更なる成長を図るために、今後ますます経営層のコミュニケーションスキル向上が重要になると言えます。 本研修では演劇アプローチによるコミュニケーションスキル開発として、英国ロイヤルアカデミーで俳優の訓練に用いられている手法を取り入れたPTM（パースペクティブ・ティキング・メソッド）をもとに、その開発に携わったプロの俳優が講師となり、他者の視点でものごとを捉えるために必要なプロセスとスキルを講義と演習を交えて学び、他者とのコミュニケーションギャップを解消し、円滑な人間関係を育むためのヒントを得ていただきます。 ※PTM（パースペクティブ・ティキング・メソッド）とは「他者との円滑なコミュニケーションに必要な、パースペクティブ・ティキング（視点取得）能力を演劇的なアプローチで向上させます。（株式会社トビラボのオリジナルメソッド）」				
研修の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・経営層と従業員の間の距離を縮めるコミュニケーションのヒントを得ます。 ・他者の視点でものごとを捉るために必要なプロセス及びスキルを学びます。 ・演劇の手法をベースとした演習により、円滑な人間関係を育むスキルを高めます。 <p>◆本コースでの学習と併せて、下記コースをご活用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「No.32 事例に学ぶ！従業員満足度を高める人事制度」 2026年9月28日(月曜)～29日(火曜)／2026年10月27日(火曜)～28日(水曜)〈4日間〉 ・「No.25 信頼でつながり助け合う職場づくり」 2026年12月3日(木曜)～2026年12月4日(金曜)〈2日間〉 ・「No.21 リーダーが育つ！強い組織づくり」 2027年2月9日(火曜)～2027年2月10日(水曜)〈2日間〉 				
研修期間	2026年11月6日(金曜) <1日間>				
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者、経営幹部、後継者 ・相手の立場に立って考える力を養いたい方 ・社内外でのコミュニケーション力を高めたい方 ・社内の生産性向上やエンゲージメント向上を図りたい方 	定員	20名	受講料	16,000円

日付	時間	科目	内容	講師
11/6 (金)	9時20分～9時30分	オリエンテーション		中小企業大学校担当職員
	9時30分～10時15分	演劇的アプローチのビジネスにおける有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・「演劇アプローチ」の理論的背景 ・PTM（パースペクティブ・ティキング・メソッド）とは ・コミュニケーションを円滑にするパースペクティブ・ティキング能力とは何か 	
	10時15分～11時00分	演劇アプローチで変わるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> (1) コミュニケーションを妨げる目に見えない背景 ・演劇の技法を応用したアプローチの有効性 ・演劇の視点に立った課題解決の手法として開発された「PTM」の活用法 ・他者の視点を取得し、理解を深める能力を向上させるための二大要素 	
	11時00分～14時20分 (昼休 12時30分 ～13時30分)	他者の視点をコミュニケーションに活かす	<ul style="list-style-type: none"> (2) 体験は「五感」で蓄積される【自分を知り、他者を知るⅠ】 ・「行動情報」を補う「五感情報」 ・PTMの重要な考え方である「五感」と「体験」の相関関係 (3) 器としての価値観【自分を知り、他者を知るⅡ】 ・PTMの根幹をなす「価値観」 ・価値観の斥力を考える (4) 器としての価値観を知る ・他者の価値観を知る (5) 他者を肯定することから始まるコミュニケーション ・否定から始まらないYes, andという考え方 	広瀬彩 株式会社トビラボ CEO・俳優
	14時20分～16時15分	ステイタスから考えるコミュニケーションの場づくり	<ul style="list-style-type: none"> (前半) ・社会的ステイタスとは何か「Who am I?」 ・他者を理解するために重要な「ステイタス」の考え方を理解する (後半) ・ステイタスの考え方を用いて、意見の出やすい場、コミュニケーションのしやすい場とはどのようなものかを考え、発表する ・実際に場を作り、試して改良する 	須田真魚 株式会社トビラボ プログラムデザイナー・俳優
	16時15分～16時30分	振り返りとまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・パースペクティブ・ティキング能力チェックテスト ・振り返り 	
	16時30分～16時40分	修了証書の授与		中小企業大学校担当職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
広瀬 彩 (ひろせ あや) 株式会社トビラボ CEO・俳優	文化庁・新進芸術家海外研修制度の在外研修員(俳優部門)として英国へ派遣され、ロンドンにある王立演劇アカデミー(RADA)において、シェイクスピア演技コースを修了。チエーホフ「かもめ」ニーナ役など国内外の舞台で主演を務める。MBA取得後は、大学講師(青山学院大学ビジネススクール、上智大学ほか)として、演劇アプローチを用いたビジネス科目を担当している。桐朋学園演劇科教員。
須田 真魚 (すだ まお) 株式会社トビラボ プログラムデザイナー・俳優	劇団俳優座を経て、現在は劇団や言語表現の枠を超えて国内外の舞台に参加。出演作に「かもめ」(東京/金沢/ソウル)、「タイタス・アンドロニカス」など。近年は俳優のみならず、劇作、演出、教育・企業研修のプログラム開発や大学講師(東京理科大学、青山学院大学ビジネススクール)など、その活動を広げている。「エグゼクティブのためのプライベートスピーチレッスン」チーフ。